

監査報告書

2026年6月10日

学校法人 親和学園
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人 親和学園

監事 白井 義人 

監事 谷口 茂 

私たち監事は、2025年4月1日から2026年3月31日までの2025年度の学校法人親和学園の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

(1) 理事会及び評議員会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本法人の業務及び財産の状況を調査いたしました。

(2) 事業報告書に記載されている理事の職務の執行が法令及び寄附行為に適合することを確保するための体制その他学校法人の業務の適正を確保するために必要なものとして私立学校法施行規則第13条各号に掲げる体制の整備に関する理事会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、理事及び職員等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。

(3) 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報

告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（私立学校法施行規則第 37 条各号に掲げる事項）を整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該会計年度に係る事業報告書及びその附属明細書、計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告書等の監査結果

① 事業報告書及びその附属明細書は、法令及び寄附行為に従い、本法人の状況を正しく示しているものと認めます。

② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はありません。

③ 内部統制システムに関する理事会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告書の記載内容及び理事の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。

（2）計算関係書類及び財産目録の監査結果

会計監査人神戸監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

以 上

2025 年度 監査報告書（教学に係わる内部統制について）

〔監査実施日時：2026 年 5 月 8 日/10：00～15：40〕

監事監査を下記の通り実施しましたので、ご報告いたします。

I. 大学の部

日 時：10：00～11：30

場 所：神戸親和大学 第1会議室

監 事：白井義人、谷口茂

出席者：松田学長、高田事務局長、森田事務局次長（局長補佐）、高橋事務局次長（局長補佐）、安井学習教育総合センター次長兼局長補佐兼学習教育総合センター事務室課長兼学長補佐（デジタル担当）、小山広報戦略室課長兼学長補佐（広報戦略担当）、関根国際・留学センター事務室課長兼国際教育研究センター事務室課長、西山学生サービスセンター事務局教務担当課長兼教職課程・実習支援センター事務室課長、金山学生サービスセンター事務局学生担当課長兼スポーツセンター事務室課長、宮内キャリアセンター事務室課長、毛利地域連携センター事務室課長兼幼稚園事務室課長、中井アドミッションセンター事務室課長、米澤通信教育部事務室課長

陪席者：藤原法人事務局総務課長

監査項目：1. 共学化について

- (1) 共学化後3年間の実績と評価、4年目に向けての課題と対応方針
- (2) キャリア支援体制の拡充状況、今後の方向性等

2. カリキュラム改革の進捗と検証について

- (1) 地域共創科目について
- (2) 副専攻制度について

3. 大学および学生のグローバル化について

- (1) 海外協定校との連携拡充および留学生受入れの強化
- (2) 海外研修・留学等の拡充他、国際人の育成施策の展開状況

4. 大学スポーツの振興について

- (1) スポーツセンターを拠点とした大学スポーツの振興

Ⅱ. 中学・高校の部

日 時 : 13 : 30～14 : 30

場 所 : 校長室

監 事 : 白井義人、谷口茂

出席者 : 金井副理事長代理、倉石副学園長、竹内校長、勝山副校長、平通教頭、
松井教頭、小林事務局長、青木次長、青野校長補佐、中村職員

陪席者 : 野田法人事務局長、藤原法人事務局総務課長

監査項目 : 1. コース改革の進捗について

- (1) 新コース2年目の運営実績と評価、3年目に向けての課題と対応方針
- (2) 他学年(在校生)への波及効果、連携状況等

2. 学校新体制(女子部・共学部併設)について

- (1) 2年目入試結果の総括
- (2) 新体制発足に伴う諸課題の取組実績、2年目に向けての課題と対応方針

3. 在校生教育改革の進捗について

- (1) 施策の実施状況および今後の対応方針
- (2) 中途転出者の実態、その要因と対策

4. 『SSH』指定に伴う理数教育の深化について

- (1) 推進体制の整備状況、新たな教育課程・プログラム等の稼働状況
- (2) 指定3年目に向けての課題と対応方針

5. 開智学園との連携状況

- (1) 開智メソッドの導入、人的交流、共同研修受講等の実績と今後の方向性

Ⅲ. 法人の部

理事長へのヒアリング、法人事務局、内部監査委員会報告

日 時 : 14 : 40～15 : 40

実施場所 : 学校法人親和学園 理事長室

監査監事 : 白井義人、谷口茂

出席者 : 山根理事長

野田法人事務局長、藤原法人事務局総務課長

監査項目 : 経営方針と中長期計画について

- ・学生生徒の確保と財政改善について
- ・その他

2026年6月10日

学校法人親和学園 監 事

白井 義人



監 事

谷口 茂

